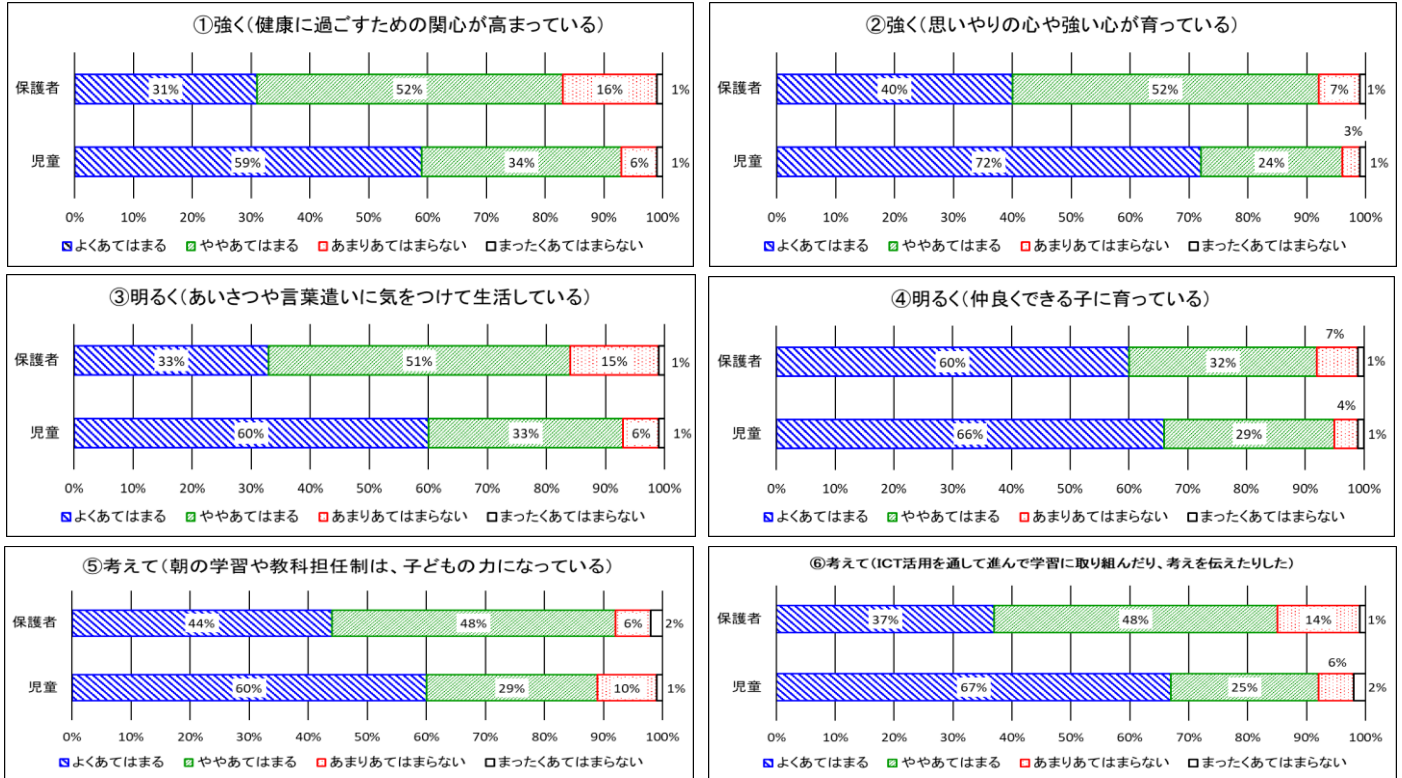


令和5年度 学校教育アンケートの結果について

野立小学校の教育活動に関するアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。保護者向けのアンケートと児童向けのアンケートの結果をお知らせいたします。

保護者の方から今年度の学校教育活動全般にわたって、様々なご意見をいただきました。集計結果と照らし合わせて、今後の改善に向けての方向性を考えていきたいと思ひます。

◇ 保護者・児童に共通する質問事項 (回収率:保護者78%、児童94%)



①では、保護者の「あまりあてはまらない」が昨年度よりも増加しています。昨年度まで感染予防対策として、「手洗いによる消毒」や「定期的な換気」が習慣化され、日常の一部として捉えられているものと考えられ、その他の健康増進としての学校の取り組みが周知できなかったことが考えられます。次年度は体力を高めたり、けがや病気の予防をしたりするなどの意識向上を図ります。

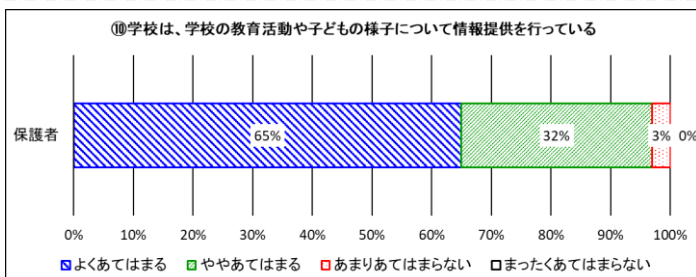
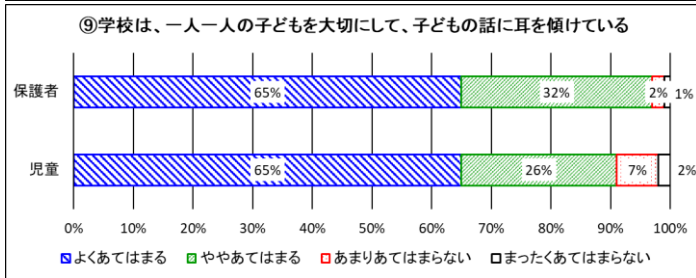
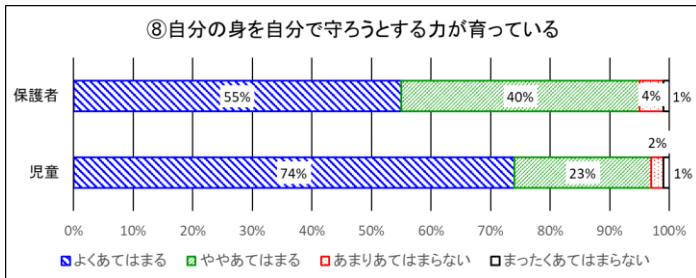
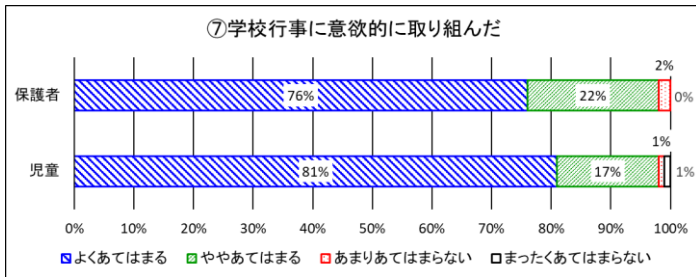
②では、9割以上の児童が「よくあてはまる」「あてはまる」と回答しました。自分の思いを伝えたり、相手の考えを聞いたりする授業や活動を行うことで、思いやりの心をもって行動しようとする事ができたと考える児童が多いと推測します。しかし、「友達の気持ちを考えて行動しているか」との質問に「まったくあてはまらない」と回答する児童も数名いました。どの発達段階においても、所属意識を高め、相手を思いやる気持ちを育む教育活動を進めていきます。

③では、今年度も挨拶の励行を指導してきました。確実に実行していると実感する児童が増えてきたと考えますが、保護者の「あてはまらない」の回答が昨年度同様15%と高い結果となっています。学校では、挨拶運動の重点期間を設けたり、校内でもすれ違うときには「こんにちは」と挨拶指導したりするなどを行っています。ぜひご家庭でも、「おはよう」や「お休みなさい」など挨拶を習慣化していただけたいと思ひます。

④では、概ね高い評価を得ています。しかし、昨年度と比べて、「あまりあてはまらない」と回答が保護者・児童ともに一定数あります。相手との交流や関わり方に困難さを感じる児童も増えていると感じられます。「学校生活アンケート」や、定期的に行っている「教育相談」などからも、一人一人の様子を把握するとともに、友達と仲良くすることのよさや大切さについて児童が話し合う機会を設けるなど居心地のよい学級づくりを引き続き進めていきます。

⑤では、保護者の「よくあてはまる」の回答が減少しています。朝の学習(15分×3日)は、「読み」「書き」「計算」を軸として基礎基本の力を付けさせています。また、今年度は朝会を行わない月曜日に、読書の機会を設けることで、本に親しむ野立っ子を増やしていくことを狙いましたが、取り組みが十分周知されていないことから、保護者の方が実感に至っていないことが考えられます。朝の学習を通して、1日の始まりとして学習に向かう気持ちを向上させ、基礎基本の力や読書への意欲が高まるようにしていきたいと思ひます。

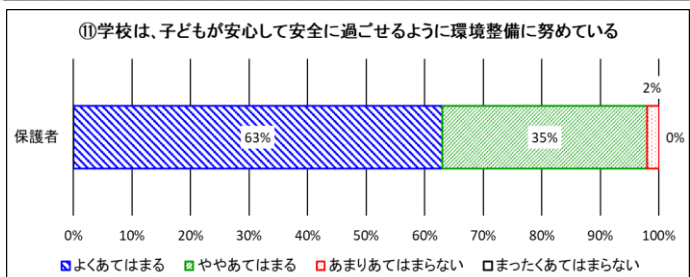
⑥のICT活用の項目では、多くの児童が意欲的に学習に取り組むことができた結果となりました。学校生活の中で、日常的にICTを活用していくことが増えてきました。しかし、約15%の保護者が「あてはまらない」と回答されています。今後も授業の中で効果的にICTを活用して、児童の学びへの意欲を高めるとともに、家庭で取り組めるような学習法の紹介や提示の工夫をしていきたいと思ひます。



⑦の学校行事への取り組みについての項目では、多くの児童は意欲的に取り組むことができたようです。また、今年度は、感染症対策による様々な制限が緩和され、「野立っ子祭り」など、児童主体の活動を実施することができ、生き生きと活動する姿が見られました。また、「運動会」での一堂に会しての応援や「作品展」でのペア鑑賞など、異学年との交流も増えてきたことも意欲向上につながったものと考えます。

⑧については児童の「よくあてはまる」が大きく増加しました。交通安全教室(1年は歩行訓練、3・5年は自転車安全教室)や、避難訓練などの安全教育だけでなく防犯や災害、人間関係などの諸問題について、学習を通して「自分の命を守る」ことへの意識が高まってきていると感じます。

⑨については、児童の「あまりあてはまらない」と「まったくあてはまらない」を合わせると約1割の児童が「話を聞いてもらっていない」と感じている結果となっています。「心とからだのチェック」や教育相談等を適切な時期に行っているものの、まだ不安を抱えている児童が少なくないことから、児童の様子を職員が把握し、こまめに声掛けをするなどしていきようにしていきます。また、SC(スクールカウンセラー)につないだり、他の関係機関とも連携を密にしたりして、一人一人にきめ細かな対応ができるようにしていきます。



⑩、⑪は保護者のみの質問事項です。⑩の項目では、「よくあてはまる」の回答が昨年度より増加しました。運動会や作品展・授業参観などでの感染予防のための制限緩和で、本校の教育活動を保護者の皆様に直接見ていただく機会を増やしたことが高い評価につながったと考えます。また、次年度は各種たよりのデジタル配信を通して、「いつでも」「どこでも」確認できるよう、準備を進めてまいります。⑪では、定期的に安全点検を行い、修繕が必要な場合は適切に行っていることが安全につながっていると考えます。

自由意見の項目では、「いろいろな問題に対し、柔軟に対応してくれている。」「これからも時代の流れなどに合わせて対応してほしい。」など、感謝や励ましの言葉をいただきました。

また、様々ご要望もいただきましたので、抜粋させていただきます。「タブレットを毎日持たせるのであればもっと有効活用してほしい。」「教科書が小さくなり、タブレットで補える部分があると日々の本が減っていい。」などのタブレット端末に関するご意見をいただきました。タブレットの毎日持ち帰りが日常となり、「スクールライフノート」で心の状態チェックや諸連絡をしたり、「ロイロノート」を活用して課題を出したりしました。さらに家庭での学習や児童の自発的に学びに向かうような活用方法を考えていきたいと思ひます。紙からデジタルへ移行されていく教科もあることが想定されます。次年度は、学校に教科書類を置いていく、いわゆる「置き勉」についても再検討し、子どもたちの毎日の負担が軽減されるよう策を講じてまいります。

学校評議員の皆様より

2月15日(木)に行われた学校評議員会において、授業の様子を参観いただき、保護者・児童アンケートをもとに、学校教育活動の成果や課題を報告し、ご意見をいただきました。

「教室が明るく感じられた。ICTを含め教育環境が整っていることはすばらしいと感じる。」「来校したときに、子どもたちから進んで『こんにちは』と挨拶してくれて幸せな気持ちになった。」「今の時代の進み方は、子どもの方が対応のスピードが速い。『相手の事を考える』などの、心豊かに生活するための教育活動を引き続き行っていただきたい。」など、様々な立場や視点からお話しいただきました。ご意見を基に、本校の教育活動をよりよいものにしていくよう邁進してまいります。